

令和4年度 第1回評議員会 議事録

- [1] 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和4年6月25日
- [2] 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者 代表理事 橋本健一
- [3] 評議員総数 10名
- [4] 議案
 - (1) 令和3年度事業報告
 - (2) 令和3年度予収支及び財産の状況
- [5] 審議経過及び審議結果

令和4年6月11日、代表理事橋本健一が評議員の全員に対して、評議員会の目的である議案について、上記内容の提案書を発し、当該提案について令和4年6月25日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得たので、当該提案を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、評議員全員が次に記名押印する。

令和4年6月25日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 評議員会

代表理事	橋本健一	印
評議員	塚田雅人	印
評議員	谷口靖	印
評議員	富重文孝	印
評議員	鎌田邦広	印
評議員	柴田眞樹	印
評議員	鈴木裕太	印
評議員	鈴木仁志	印
評議員	渡邊由美	印
評議員	岸本敦	印
評議員	岩崎洋平	印

第1号議案 令和3年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 館山寮の再建計画の進捗状況

令和2年度に再編された館山寮再建実行委員会は精力的に活動を続け、5月には社会的信用があり実績のある4社に設計委託料の見積もりを依頼し、最低価格を提示したニジアーキテクトゥー級建築士事務所が有利であると判断して同社を設計担当に選任しました。

工期短縮とコスト削減を図るため、設計段階から施工業者が施工受託を前提に参画する方式を採用し、5社見積の中で建築実績、ウッドショックへの対応などを総合的な観点から検討し、地元南房総市の加藤建設を施工業者に選定しました。また、工事監理は、基本設計を担当したニジアーキテクトゥー級建築士事務所に委嘱しました。

工事費総額は、11,203万円を予定しています。

1.2 臨海教室

令和3年度は、既存女子棟とトレーラーハウスを数台借り入れて臨海教室開催の可能性を検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況では、リスクが大きいと判断され、実施は見送られました。

1.3 再建募金の状況

令和3年度の再建募金は凡そ7百万円で、累積で34百万円となりました。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 館山寮の再建

男子棟、教員室、女子棟、浄化槽は、6月末に完成する計画で、完成検査を受けて7月上旬に引渡しされる予定です。

工事代金見積もりは手持資金に対して800万円ほど超過しているため、経費の削減と更なる再建募金により賄うことにしていますが、それでも不足する場合は100周年募金より充当することを考えています。

2.2 臨海教室

伝統ある臨海教室を何としても継続したいということで、新型コロナウイルス感染症の今後の推移を見据えて、規模を縮小して一泊二日で一クラスずつ実施することを計画しています。

同窓生に対する寮の解放は、管理運営を委託している朝陽水泳会と協議し、利用人員を制限するなどコロナ対策を十分に行い実施する予定です。

2.3 今後の館山寮の維持、管理

将来的には財団の経常収支で、維持管理費を賄えるようにしたいので、再建がなった後に、タスクフォースを組成して、継続的に検討を加えて行きたいと考えています。

第2号議案 令和3年度収支及び財産の状況

1. 収支－予算実績対比

経常収益

単位：万円

項目	実績	予算	増減
賛助会員受取会費	374	384	-10
寮使用料収入	0	330	-330
寄付金、雑収入	6	11	-5
経常収益合計	380	725	-345

- ・76回生（2021年度新入生）賛助会員は249名、78%
- ・予算上は臨海教室、一般宿泊を行う計画だった

経常費用

項目	実績	予算	増減
減価償却費	379	380	1
光水熱費、燃料費	60	59	-1
消耗品費、備品費	9	23	14
管理人費用	50	50	0
委託費	55	436	381
保険・賃借料	33	282	249
助成金・負担金	11	21	10
その他費用	16	29	13
予備費	—	50	50
経常費用合計	613	1,330	717

- ・臨海教室、一般宿泊を行わなかったため委託費（給食）等の支出無し
- ・同様の理由でトレーラーハウスを賃借する計画を中止したため賃借料は無し

当期経常増減額	-233	-605	372
---------	------	------	-----

経常外費用

固定資産除去損	-23	0	-23
---------	-----	---	-----

- ・女子棟解体による残存資産廃棄

収支差額

当期収支差額	-256	-605	349
--------	------	------	-----

2. 財産－前年対比貸借対照表

流動資産

単位：万円

項目	当年度	前年度	増減
現金預金	654	518	136

固定資産

基本財産

項目	当年度	前年度	増減
土地(館山、水上)	5,643	5,643	0
建物、建物付属	3,289	3,658	-369
機械設備、器具備品	76	109	-33
建設仮勘定	3,889	0	3,889
合計	12,897	9,410	3,487

- ・建設仮勘定は第二期工事着手金 3,300 万円、設計費、監理費 562 万円等の支払いによる特定資産

館山寮再建等引当資産	6,661	9,846	-3,185
------------	-------	-------	--------

- ・第二期工事着手のため取り崩し、建設仮勘定へ振替 3,889 万円
- ・令和 3 年度の再建募金額を引当、703 万円

資産合計

資産合計	20,212	19,774	438
------	--------	--------	-----

負債

項目	当年度	前年度	増減
前受金	363	374	-11
未払金	237	228	9
負債合計	600	602	-2

- ・77 回生 (2022 年度新入生) 賛助会員は 242 名 (76 %)

正味財産

一般正味財産	16,169	16,433	-264
指定正味財産	3,443	2,739	704
正味財産合計	19,612	19,172	440

- ・正味財産とは、法人の純資産のことで一般正味財産と指定正味財産にくぶんされる
一般正味財産は毎期決算と連動していて、剰余金の累計額
指定正味財産は寄付金等用途の制限のある金額、今回は館山寮再建募金がこれに当たる

負債及び正味財産合計

負債及び正味財産合計	20,212	19,774	438
------------	--------	--------	-----

以上